

## 「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 堀内けい子

日時	2025年03月17日(月) 9時35分～15時00分	天候	曇り時々雪	コース名: 第54回よりみちクラブ	
案内団体 又は催事名	葛城の道【高鴨神社～住吉神社】			人数	大人:15名

集 合： 近鉄御所駅 9時35分

ガイド： ならなぎ会員 中谷さん

行 程： 近鉄御所駅(バス 9 時 48 分新宮駅行き)→風の森下車→高鴨神社→高天彦神社→橋本院→極楽寺→  
住吉神社→小殿バス停(14 時 39 分大和高田駅行き)→近鉄御所駅

出席者： 中谷・義田・上森・北川・山岡・玉尾(洋)・玉尾(ひ)・澤井・武田・山田(勝)・竹山・嶋田・田中(和)・  
服部・堀内(け) (15名)

◇近鉄御所駅に集合。

日本一長い路線バス「新宮行き」(9:48)に乗車～風の森で下車(10:10)

風の森峠は風の強い所、古より風の神(志那津彦)を祀った風の森神社がひっそりと佇む。

旧高野街道で、天誅組が布陣した所でもある。

◇高鴨神社へ

＊高鴨神社

大和の豪族 鴨氏の守護神 阿遲志貴高日子根命(あぢしきたかひこねのみこと)、下照姫命を祀る。

全国 鴨(賀茂)社の総本宮。弥生中期より祭祀を行う日本最古の神社の一つ。式内社。

室町時代の本殿(三間社流造)は、重要文化財。

石垣に灯籠石がはめ込まれている。

栓皮草の摂社も苔むして静かにたたずんでいる。

京都下賀茂神社に祀られている鴨建津身命は、八咫鳥に変身して、神武天皇を大和へ導いた。

高鴨神社(上社)・鴨都波神社(下社)・御歳神社(中社)

◇高天彦神社へ急な登りが続く

途中より杉木立の山道、蜘蛛窟・鶯宿梅を経て、老杉の参道を通り、高天彦神社へ至る。

神社駐車場で昼食(11:50～12:15)

＊高天彦神社(たかまひこじんじゃ)

古代豪族、葛城氏の最高神 高皇産霊神(たかみむすびのかみ)を祀る。

御神体は、背後の白雲峰。天孫降臨神話の伝承地と伝わる。

後の葛城一族は、葛城襲津彦の時代に全盛期を迎えるが、雄略天皇により滅ぼされる。

＊橋本院

元正天皇の勅により行基が開山。十一面観音像

元弘の変(1331 年)以後、南朝側とみなされ、北朝側の高師直らにより焼き討ちされ衰退。

◇シシよけフェンスを通り、険しい山道を下り、極楽寺へ

＊仏頭山 極楽寺

光を放つ地から仏頭が見つかり、その地に興福寺の一和僧都が建立。

山門は、鐘撞堂を兼ねた鐘楼門

＊住吉神社

白鳳時代に、大阪住吉大社の分霊を勧請。

◇舗装道を下り、「小殿バス停」へ 14:39発 →近鉄御所駅 (解散)

## 所感等

風の森峠では、小雪混じりの強風にさらされ、風の神様を身近に感じました。  
春まだ浅く、木々の芽は固く、梅・椿の花が見られるぐらいでしたが、  
土筆・露の臺が顔を出し、お酒のおつまみにと、摘まれた方もいました。  
珍しいニワトコの木が、民家に植えられていました。生薬として風邪や利尿に効果あるとか。  
橋本院では、ミツマタ・サンシュユの黄色い花が咲き始めていました。  
奈良盆地、畝傍山などの眺望がよかった。  
“大和は国のまほろば…”を感じさせる所でもありました。  
私のいち押しの葛城の道、中谷さんに詳しく説明、案内して頂きました。ありがとうございました。  
キリッとした空気の中、清々しいハイキングになりました。

## (特記事項)

高天彦神社への上りは急坂が続くため、大事を取って、二人が車での移動となった。

